

b) 見どころを活かしたイベントを、コンセプトを決めて開催する。
c) マスコミ、HP、SNSの活用や、小学校等への訪問等による広報活動を実施する。

e) イベント誘致（新鮮な産直品を扱う軽トラ市等）により、県内各地の農業と触れ合う機会を増やす。
f) わかりやすく、親しみやすいニックネームを公園に付ける。



取組の優先順位 (①～⑥位)	① a	② b	③ c	④ d	⑤ e	⑥ f
優先①位の取組に必要な準備事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季のイベントビジョンを決めてから、春夏秋冬のイメージカラーを決める。</li> <li>・イメージカラーに沿ったゾーニング計画を作成する。</li> <li>・プロジェクトチームによって、実施計画を作成する。</li> <li>・四季のイベントに特化したオリジナル商品を地域と連携して、開発する。</li> <li>・季節の始まりに先んじた「一足早い営業活動」を実施する。</li> </ul>					



<b>施設 6</b>	<b>大洲総合運動公園</b>	指定管理
-------------	-----------------	------

所管部課室	土木建築部 公園・生活排水課
施設所在地	大分市青葉町1番地
HPアドレス	<a href="http://www.oita-oosukouen.com">http://www.oita-oosukouen.com</a>



### 1. 施設概要

設置年月	昭和 53(1978)年 8 月
設置根拠	都市公園法、大分県都市公園条例
設置目的	工業地帯と市街地を遮断する緩衝緑地帯として、また県民の健康と体力の維持増進を図り公共の福祉の増進に資するため、各種スポーツ施設を備えた運動公園として設置
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公園施設の維持管理及び修繕に関すること</li> <li>② 都市公園の利用の受付及び案内に関すること</li> <li>③ 有料公園施設の利用の許可に関すること</li> <li>④ 都市公園の利用の促進に関すること</li> <li>⑤ その他知事が特に必要と認めること</li> </ul>

施設内容	① 硬式野球場 ② 軟式野球場 ③ テニスコート ④ 弓道場（近的、遠的：アーチェリー場兼用） ⑤ 多目的広場 ⑥ ゲートボール場 ⑦ みんなの広場 ⑧ 駐車場
閉館日	12月28日～1月4日及び毎週火曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときはその翌日）

## 2. 管理体制

### (1) 指定管理者

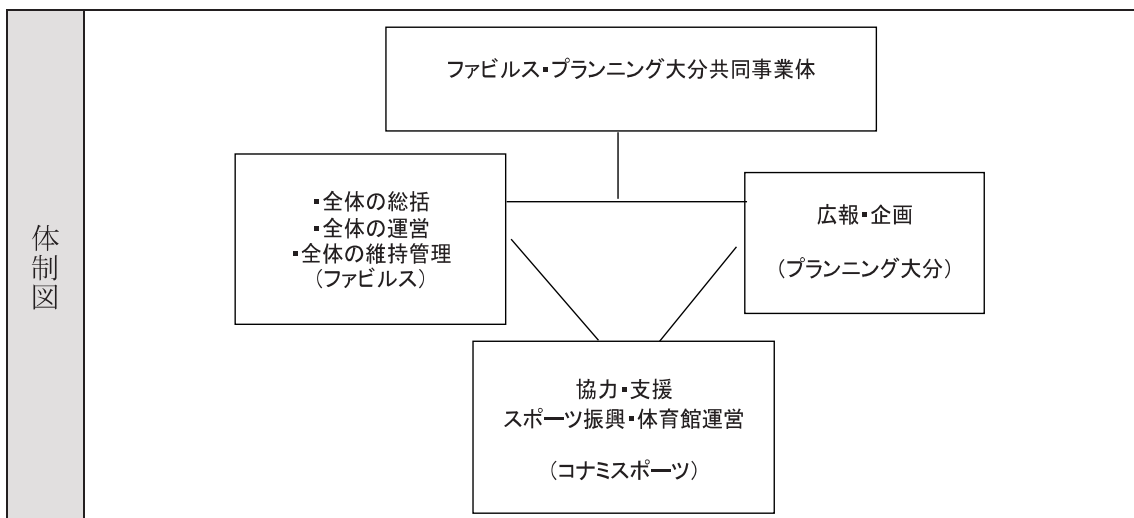
名称	ファビルス・プランニング大分共同事業体
所在地	大分市青葉町1番地
業種※	ビルメンテナンス、広告業
指定期間	平成30(2018)年4月1日～令和2(2020)年3月31日 [3期目]

※：日本標準産業分類による分類

### (2) 職員構成（令和元年5月1日現在、単位：人）

正規	パート	嘱託	非常勤	他社派遣	他	総計
4	3	4	5	0	14	30

### (3) 体制図（令和元年5月1日現在）





(4) 指定管理方式の経過

導入年月	平成 18(2006)年 4 月
前回公募時の応募団体数	3 団体

3. 管理に係る収支状況 (単位：千円)

		H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度
収入額 (A)		71,318	73,352	75,709
内 訳	県からの委託料	59,465	59,465	61,906
	利用料金	0	0	0
	事業収入	0	0	0
	自主事業収入	11,853	13,887	13,803
	サービス改善提案事業収入	0	0	0
	その他収入	0	0	0
支出額 (B)		71,318	73,352	75,709
内 訳	人件費	17,647	17,122	16,822
	維持管理費	41,818	42,343	45,084
	事業費	0	0	0
	自主事業費	11,853	13,887	13,803
	サービス改善提案事業支出	0	0	0
	その他支出	0	0	0
収支差額 (A - B)		0	0	0

4. ストックに係る状況

(1) ストック概要 (令和元年 5 月 1 日現在)

取得年月(※)	昭和 53(1978)年 8 月 [経過年数:41 年]
敷地面積	163,768 m <sup>2</sup>
延べ床面積	4,848 m <sup>2</sup>

※:取得年月は、主たる建物の取得年月を記載、転用の場合は前身施設の取得年月  
 県有財産台帳に同名施設で登録されている全ての土地・建物の面積を記載

(2) 過去 3 年間の建物修繕等コスト (単位：千円) …※

	県負担	指定管理者負担	合計
H28(2016)年度	32,805	1,932	34,737
H29(2017)年度	37,942	1,770	39,712
H30(2018)年度	62,995	1,718	64,713

3年間平均	44,581	1,807	46,387
-------	--------	-------	--------

※:建物や建物設備（電気、排水設備等）に係る修繕・改善コストを記載（清掃・警備・消耗品交換費・植栽管理費等は除く）

(3) 施設長寿命化（保全）コスト（単位：千円）

計画名称	大分県公園施設長寿命化計画
計画期間	10年 [平成31(2019)年～令和10(2028)年]
期間中の総保全コスト	931,300 (年平均:93,130)

5. 利用状況

(1) 利用者数の実績・予測

実績	H28(2016)年度	188,225人 [前年度比:+1.1%]
	H29(2017)年度	188,645人 [前年度比:+0.2%]
	H30(2018)年度	173,297人 [前年度比:-8.1%]
	利用者居住地	①大分市 [86%]、②大分市外 [6%]、③県外 [0.5%]
予測※	R12(2030)年度	168,886人 [H30(2018)年度比:-2.5%]
	R27(2045)年度	154,665人 [H30(2018)年度比:-10.8%]

※:予測利用者数は「平成30(2018)年度利用者数」×「将来推計人口から算出した人口変化率」で試算。

(2) 利用目的 [平成30(2018)年度]

1位	軟式野球場 25%	2位	多目的広場 18%	3位	硬式野球場・弓道場 15%
----	--------------	----	--------------	----	------------------

(3) 利用者満足度調査等の実施状況

実施方法	通年の窓口での利用者アンケート調査に加え、テニス・弓道・野球等の各利用団体には同調査を個別にお願いしている。
実施結果	○使いやすさ（総数187件：大変良い25.1%、良い31.6%、普通26.2%、悪い9.6%、大変悪い1.6%、無回答5.9%） ○清潔さ（総数185件：大変良い16.2%、良い29.2%、普通31.3%、悪い13.5%、大変悪い2.2%、無回答7.6%） ○スタッフの対応（総数185件：大変良い28.1%、良い35.1%、普通28.7%、悪い0.5%、大変悪い0.0%、無回答7.6%） ○次回利用希望（総数185件：ぜひ利用したい44.3%、利用したい41.1%、

どちらでもない7.6%、利用したくない0.5%、無回答6.5%)	
主な意見・要望・苦情	左記への対応状況
<b>【弓道(遠的)アーチェリー場・弓道場(近的)】</b> ・夜間、もう少し全体を明るくして欲しい ・障がい者トイレのドアが開閉しにくい  ・駐車場が少ない ・トイレが古いので臭う	・投光器を2台購入し、設置した ・潤滑油をさし、スムーズに開閉できるようにした ・第2駐車場を増設した ・配管洗浄やコーティングで対応した
<b>【多目的広場】</b> ・グラウンドが整備されていない時がある  <b>【テニスコート】</b> ・洋式トイレを設置して欲しい	・利用者に使用後の整備を周知した  ・近隣にある公衆トイレの洋式トイレで対応した

## 6. 施設利活用に係る状況

### (1) 近隣類似施設の状況

施設名	設置者	所在地	H30(2018)年度利用者数
大分スポーツ公園	大分県	大分市	1,199,995人
市営駄原テニスコート	大分市	大分市	71,731人
市営舞鶴テニスコート	大分市	大分市	69,344人
別府市民球場	別府市	別府市	15,004人

### (2) 他組織との企画・情報発信における連携

他組織	連携	主な連携内容(連携組織名)
県庁内の他組織	○	・スポーツツーリズムの推進(芸術文化スポーツ振興課) ・野点の協力団体の相談紹介(北部振興局)
市町村	○	・スポーツフェスタ(大分市) ・屋台の協力業者の相談紹介(大分市)
学校	○	・ボルダリング体験会(竹田高校) ・クリーンアップイベント(県内高校)
民間企業	○	・テニス教室(オリオンスポーツ) ・少年野球教室(ソフトバンク)
その他団体(NPO、各種法人等)	○	・グラウンドゴルフ体験会(NPO法人) ・ストリートダンスバトル(ダンスクラブ IWAZO)

(3) 利活用を進める上での課題

分類	有無		課題の具体的な内容
	県側	指側※1	
人員不足	×	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力団体等との連携、協力</li> <li>・新たなアイデアの試行</li> <li>・協力団体等による助言・アイデア</li> <li>・条例、規則、公募条件、協定等</li> <li>・機能、老朽化、配置、周辺環境等</li> <li>・複数の部局の施設が混在</li> </ul>
予算不足	×	○	
ノウハウ・アイデア不足	×	○	
ノウハウ等を 阻害する要因	×	○	
施設ポテンシャル※2	○	○	
その他	×	○	

※1:指側＝指定管理者側

※2:施設ポテンシャル＝施設の規模・機能、老朽化・陳腐化、立地条件等

(4) SWOT分析 [強み(**S**trength)、弱み(**W**eakness)、機会(**O**pportunity)、脅威(**T**hreat)]

目指す施設像 (イメージ、目標数値等)	市街地に近い、利便性の良い場所を考慮し、老朽化した施設を改修し付加価値の高い施設を目指す
------------------------	--

◆「目指す施設像」を実現するためのSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内施設と屋外施設が併設している</li> <li>・駐車場が広い</li> <li>・公園が広く、樹木が多い</li> <li>・ウォーキングやジョギングの出来る園路が整備されている</li> <li>・休息できる広場やベンチ等が多い</li> <li>・園内に特攻隊の記念碑がある</li> <li>・スタジアム周辺に広い空間がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設が老朽化している</li> <li>・屋外施設のため天候に左右される</li> <li>・施設の配置が悪い</li> <li>・公園が広く、施設が点在するため、目が行き届きにくい</li> <li>・古いトイレが多い</li> </ul>
	S	W
外部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地に近い</li> <li>・近隣に学校（保育園～高校）が多い</li> <li>・道路状況は良好である</li> <li>・平坦地域で自転車での往来が可能である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民家が近い</li> <li>・第二駐車場への道が一方通行で不便</li> <li>・大工場が隣接し、煤煙等の影響あり</li> <li>・電車がなく、バスの本数も少ない</li> <li>・海に近く津波等の影響を受けやすい</li> </ul>
	O	T

▼

上記SOを生かす取組
a) 園路等有料施設以外の活用をさらに検討する
b) 屋内施設と屋外施設を一体的に利用するイベントを開催・誘致する
c) 学校等にレクリエーション・遠足・課外学習等を呼びかけ、利用促進を図る

▼

上記WTを補う取組
d) 施設を改修し、適正な配置等も考慮する
e) 雨天でも利用のできる施設や練習場をつくる
f) ニュースポーツの体験会や教室を開催する

▼

取組の優先順位 (①～⑥位)	① b	② e	③ a	④ c	⑤ d	⑥ f
優先①位の取組に必要な準備事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地の調査</li> <li>・費用対効果の検証</li> <li>・必要予算の確保</li> </ul>					



<b>施設 7</b>	<b>大分スポーツ公園</b>	指定管理
-------------	-----------------	------

所管部課室	土木建築部 公園・生活排水課
施設所在地	大分市横尾 1351 番地ほか
HPアドレス	<a href="http://www.oita-sportspark.jp">http://www.oita-sportspark.jp</a>



### 1. 施設概要

設置年月	平成 13(2001)年 5 月
設置根拠	都市公園法、大分県都市公園条例
設置目的	県民のスポーツ振興及び健康増進を図る
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公園施設の維持管理及び修繕に関する事</li> <li>② 都市公園の利用の受付及び案内に関する事</li> <li>③ 有料公園施設の利用の許可に関する事</li> <li>④ 都市公園の利用の促進に関する事</li> <li>⑤ その他知事が特に必要と認める事</li> </ul>
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 総合競技場</li> <li>② サッカー・ラグビー場</li> <li>③ 野球場</li> </ul>

	④ 投てき場 ⑤ サブ競技場 ⑥ テニスコート ⑦ 多目的運動広場 ⑧ 大芝生広場 ⑨ 駐車場 他
閉館日	12月29日～1月3日及び毎週木曜日

## 2. 管理体制

### (1) 指定管理者

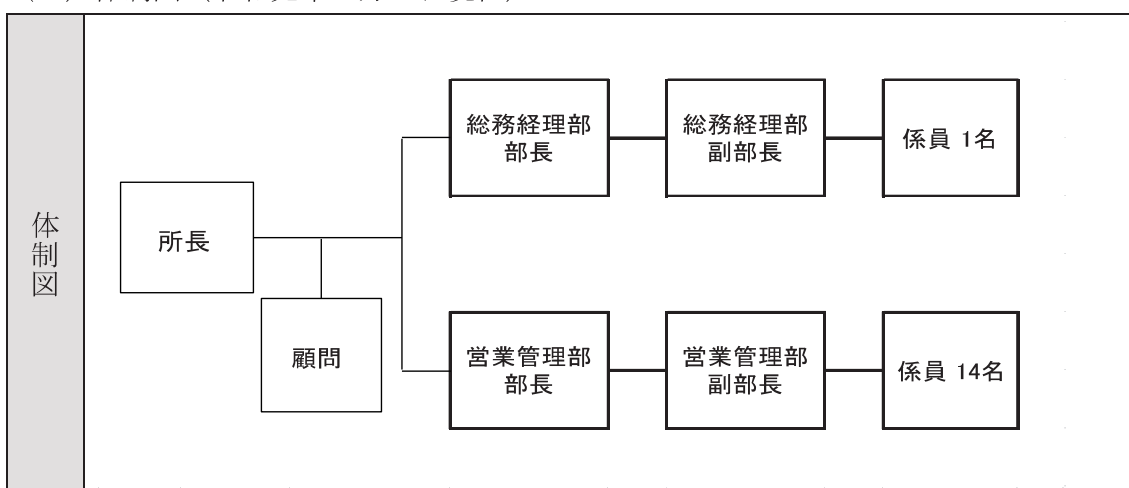
名 称	株式会社大宣
所在地	大分市東春日町1番8号
業種※	広告業
指定期間	平成31(2019)年4月1日～令和6(2024)年3月31日 [4期目]

※:日本標準産業分類による分類

### (2) 職員構成 (令和元年5月1日現在、単位:人)

正規	パート	嘱託	臨時	他社派遣	他	総計
21	0	0	0	0	0	21

### (3) 体制図 (令和元年5月1日現在)



### (4) 指定管理方式の経過

導入年月	平成18(2006)年4月
前回公募時の応募団体数	1団体



### 3. 管理に係る収支状況（単位：千円）

		H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度
収入額（A）		409,969	409,477	413,939
内 訳	県からの委託料	378,242	379,467	384,906
	利用料金	0	0	0
	事業収入	8,154	8,736	9,591
	自主事業収入	22,453	19,015	17,583
	サービス改善提案事業収入	1,080	1,080	1,080
	その他収入	40	1,179	779
支出額（B）		392,958	398,053	406,512
内 訳	人件費	71,503	75,089	79,914
	維持管理費	302,439	307,699	312,912
	事業費	0	0	0
	自主事業費	17,936	14,185	12,606
	サービス改善提案事業支出	1,080	1,080	1,080
	その他支出	0	0	0
収支差額（A－B）		17,011	11,424	7,427

### 4. ストックに係る状況

#### (1) ストック概要（令和元年5月1日現在）

取得年月(※)	平成13(2001)年3月 [経過年数:18年]
敷地面積	1,848,468.18 m <sup>2</sup>
延べ床面積	96,946.23 m <sup>2</sup>

※:取得年月は、主たる建物の取得年月を記載、転用の場合は前身施設の取得年月  
 県有財産台帳に同名施設で登録されている全ての土地・建物の面積を記載

#### (2) 過去3年間の建物修繕等コスト（単位：千円）…※

	県負担	指定管理者負担	合計
H28(2016)年度	654,118	4,960	659,078
H29(2017)年度	497,399	6,020	503,419
H30(2018)年度	790,480	4,443	794,923
3年間平均	647,332	5,141	652,473

※:建物や建物設備（電気、排水設備等）に係る修繕・改善コストを記載（清掃・警備・  
 消耗品交換費・植栽管理費等は除く）

(3) 施設長寿命化（保全）コスト（単位：千円）

計画名称	①大分県大規模施設中長期保全計画（総合競技場） ②大分県公園施設長寿命化計画（総合競技場以外）
計画期間	①10年 [平成27(2015)年～令和6(2024)年] ②10年 [平成31(2019)年～令和10(2028)年]
期間中の総保全コスト	①3,247,780（年平均:324,778） ②1,505,400（年平均:150,540）

5. 利用状況

(1) 利用者数の実績・予測

実績	H28(2016)年度	1,144,627人 [前年度比:-0.8%]
	H29(2017)年度	1,088,487人 [前年度比:-4.9%]
	H30(2018)年度	1,199,995人 [前年度比:+10.2%]
	利用者居住地	①大分市 [86.7%]、②別府市 [2.1%]、③由布市 [2.0%]
予測※	R12(2030)年度	1,170,703人 [H30(2018)年度比:-2.4%]
	R27(2045)年度	1,073,581人 [H30(2018)年度比:-10.5%]

※: 予測利用者数は「平成30(2018)年度利用者数」×「将来推計人口から算出した人口変化率」で試算。

(2) 利用目的 [平成30(2018)年度]

1位	テニス 17.9%	2位	サッカー 14.6%	3位	野球 11.9%
----	--------------	----	---------------	----	-------------

(3) 利用者満足度調査等の実施状況

実施方法	①電話、インターネット等による意見・苦情の受付（随時） ②インフォメーションコーナーのアンケートボックス設置による意見・苦情の受付（随時） ③アンケート調査 対象者：イベント主催者・一般利用者 実施期間：H30.11.26～H31.1.26 回答件数：985件
実施結果	○利用の感想（大変良い39.3%、良い41.9%、普通16.9%、悪い1.7%） ○職員の対応（大変良い39.1%、良い32.8%、普通23.5%、悪い1.6%） ○駐車場（十分43.8%、普通40.2%、不足している14.1%）

	<p>○施設利用料金（安い 19.5%、適正 63.8%、高い 9.8%）</p> <p>○案内看板（足りている 44.4%、どちらでもない 44.2%、足りていない 7.5%）</p> <p>○SNSの利用（利用している 41.0%、利用していない 51.1%、利用していないが興味はある 3.8%）</p> <p>○スポーツ公園公式SNS（閲覧したことがある 23.8%、閲覧したことがない 65.1%、閲覧したことはないが興味はある 6.5%）</p>
主な意見・要望・苦情	左記への対応状況
・ドーム東階段の所々に雑草が生えてきていて見苦しい。	・除草作業は各箇所年間計画を立て行っており、指摘箇所は翌月に作業予定となっていたが、作業日を前倒しで実施した。
・イノシシの仕業で、公園に隣接する駐車場に土砂が落ちている。	・連絡を受けた同日に、現地の清掃作業を行った。
・公園内トイレに異臭がする。	・該当箇所が特定されていなかったため、公園内全てのトイレを調査し、確認を行った。

## 6. 施設利活用に係る状況

### (1) 近隣類似施設の状況

施設名	設置者	所在地	H30(2018)年度利用者数
なし	—	—	—

### (2) 他組織との企画・情報発信における連携

他組織	連携	主な連携内容（連携組織名）
県庁内の他組織	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>青山学院大学陸上部合宿等（企画振興部 芸術文化スポーツ振興課）</li> <li>ラグビー関連イベント（企画振興部 RWC2019 推進課）</li> </ul>
市町村	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>OITAサイクルフェス（大分市）</li> </ul>
学校	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア清掃活動（情報科学高校）</li> </ul>
民間企業	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネーミングライツ企業主催清掃活動（昭和電工(株)）</li> <li>OBS感謝祭、赤ちゃんピック（(株)大分放送）</li> </ul>
その他団体（NPO、各種法人等）	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>つる切りボランティアイベント（NPO法人アシスト・パル・オオイタ）</li> </ul>

(3) 利活用を進める上での課題

分類	有無		課題の具体的な内容
	県側	指側※1	
人員不足	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント誘致にかかる営業活動のための資金不足</li> <li>・ 広告代理店のノウハウを活かしたイベントの企画</li> <li>・ 立地条件（公共交通機関が不便）</li> </ul>
予算不足	×	○	
ノウハウ・アイデア不足	○	×	
ノウハウ等を 阻害する要因	×	×	
施設ポテンシャル※2	○	○	
その他	×	×	

※1:指側＝指定管理者側

※2:施設ポテンシャル＝施設の規模・機能、老朽化・陳腐化、立地条件等

(4) SWOT分析 [強み(**S**trength)、弱み(**W**eakness)、機会(**O**pportunity)、脅威(**T**hreat)]

目指す施設像 (イメージ、目標数値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のスポーツ振興及び健康増進を目的とし、身近に親しめるレクリエーションや自然とのふれあいの場として幅広く利用されることを目指す。</li> <li>・目標年間利用者数:H31年度 1,308千人、R2~R5年度 1,200千人</li> </ul>
------------------------	---

◆「目指す施設像」を実現するためのSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数のスポーツ施設が集合している</li> <li>・観客数が4万人収容可能である</li> <li>・駐車場が広い</li> <li>・武道スポーツセンターが開館した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関の便が良くない</li> <li>・施設が老朽化している</li> <li>・芝管理上、芝生上でのイベント開催が難しい</li> </ul>
外部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分トリニータのホームである</li> <li>・近隣に大型商業施設がある</li> <li>・2020 東京オリンピック・パラリンピックが開催される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント重複時に駐車場が不足する可能性がある</li> <li>・渋滞報道により、来園が敬遠される可能性がある</li> </ul>

▼

上記SOを生かす取組	
a)	駐車場スペースを利用したイベントを開催する(各種展示会等)
b)	武道スポーツセンターを利用する新規団体と連携を図り、各種イベントの誘致を行う
c)	東京オリンピック・パラリンピックに関するイベントの誘致を行う

▼

上記WTを補う取組	
d)	渋滞対策会議で決定した対応フローに従って、関係機関と情報共有を行い渋滞の発生を防ぐ
e)	ドームと武道スポーツセンターのイベント調整、駐車場利用調整を行う
f)	施設が老朽化した箇所について修繕を行う

▼

取組の優先順位 (①~⑥位)	①b	②e	③d	④a	⑤c	⑥f
優先①位の取組に必要な準備事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道スポーツセンターを利用する競技団体の把握</li> <li>・利用団体が主催する大会のリサーチ</li> <li>・利用団体関係者へのアプローチ</li> </ul>					



<b>施設 8</b>	<b>ハーモニーパーク</b>	指定管理
-------------	-----------------	------

所管部課室	土木建築部 公園・生活排水課
施設所在地	速見郡日出町大字藤原 5933 番地
HPアドレス	<a href="https://www.harmonyland.jp/welcome.html">https://www.harmonyland.jp/welcome.html</a>



### 1. 施設概要

設置年月	平成 3 (1991) 年 4 月
設置根拠	都市公園法・大分県都市公園条例
設置目的	公共の福祉の増進に資すること
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公園施設の維持管理及び修繕に関する事</li> <li>② 都市公園の利用の受付及び案内に関する事</li> <li>③ 都市公園施設の利用の許可に関する事</li> <li>④ 都市公園の利用の促進に関する事</li> <li>⑤ その他知事が特に必要と認める事</li> </ul>
施設内容	① 実証展示林

	② 皇太子殿下御成婚記念庭園 ③ フェスティバルステージ ④ 駐車場
閉館日	8月を除く平日（主に木曜日）に休園日あり

## 2. 管理体制

### (1) 指定管理者

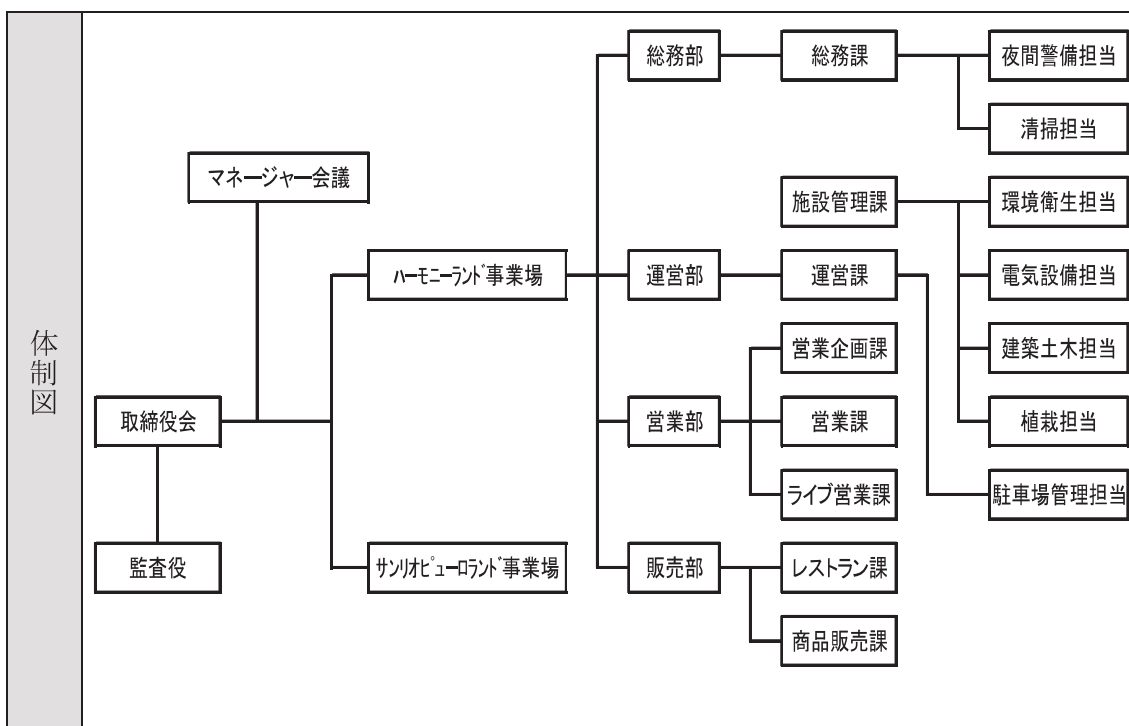
名称	株式会社サンリオエンターテイメント
所在地	東京都多摩市落合1丁目31番地 (ハーモニーランド：大分県速見郡日出町大字藤原5933番地)
業種※	公園、遊園地
指定期間	平成28(2016)年4月1日～令和3(2021)年3月31日 [3期目]

※：日本標準産業分類による分類

### (2) 職員構成（令和元年5月1日現在、単位：人）

正規	パート	嘱託	臨時	他社派遣	他	総計
121	18	0	0	0	2	141

### (3) 体制図（令和元年5月1日現在）





(4) 指定管理方式の経過

導入年月	平成 18(2006)年 4 月
前回公募時の応募団体数	任意指定

3. 管理に係る収支状況 (単位：千円)

		H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度
収入額 (A)		66,330	66,330	66,330
内 訳	県からの委託料	66,330	66,330	66,330
	利用料金	0	0	0
	事業収入	0	0	0
	自主事業収入	0	0	0
	サービス改善提案事業収入	0	0	0
	その他収入	0	0	0
支出額 (B)		66,272	68,392	69,825
内 訳	人件費	21,902	21,551	23,118
	維持管理費	41,918	44,241	43,998
	事業費	0	0	0
	自主事業費	0	0	0
	サービス改善提案事業支出	0	0	0
	その他支出	2,452	2,600	2,709
収支差額 (A - B)		58	-2,062	-3,495

4. ストックに係る状況

(1) ストック概要 (令和元年 5 月 1 日現在)

取得年月(※)	平成 3 (1991)年 4 月 [経過年数:28 年]
敷地面積	258,245.40 m <sup>2</sup>
延べ床面積	1,234.25 m <sup>2</sup>

※:取得年月は、主たる建物の取得年月を記載、転用の場合は前身施設の取得年月  
 県有財産台帳に同名施設で登録されている全ての土地・建物の面積を記載

(2) 過去 3 年間の建物修繕等コスト (単位：千円) …※

	県負担	指定管理者負担	合計
H28(2016)年度	4,838	6,297	11,135
H29(2017)年度	13,152	9,445	22,597
H30(2018)年度	5,836	9,120	14,956

3年間平均	7,942	8,287	16,229
-------	-------	-------	--------

※:建物や建物設備（電気、排水設備等）に係る修繕・改善コストを記載（清掃・警備・消耗品交換費・植栽管理費等は除く）

(3) 施設長寿命化（保全）コスト（単位：千円）

計画名称	大分県公園施設長寿命化計画
計画期間	10年 [平成31(2019)年～令和10(2028)年]
期間中の総保全コスト	561,400 (年平均:56,140)

5. 利用状況

(1) 利用者数の実績・予測

実績	H28(2016)年度	497,576人 [前年度比:-9.7%]
	H29(2017)年度	518,125人 [前年度比:+4.1%]
	H30(2018)年度	559,220人 [前年度比:+7.9%] …☆
	利用者居住地	①大分県 [32.0%]、②福岡県 [30.0%] ③熊本県 [6.3%]
予測 ※	R12(2030)年度	522,745人 [H30(2018)年度比:-6.5%]
	R27(2045)年度	459,514人 [H30(2018)年度比:-17.8%]

※:予測利用者数は「平成30(2018)年度利用者数」×「将来推計人口から算出した人口変化率」で試算。

(☆:利用者数の補足)

区分	H30(2018)年度実績
ハーモニーランドを除く公園部分	53,093人
うち、実証展示林	494人

(2) 利用目的 [平成30(2018)年度]

1位	ショー&パレード 30.8%	2位	サンリオキャラクター 29.0%	3位	アトラクション 22.8%
----	-------------------	----	---------------------	----	------------------

(3) 利用者満足度調査等の実施状況

実施方法	イルミネーション営業日に対してアンケート配布		
実施結果	141件の回答（複数回答可）		
	アトラクション施設の増	56件	
	飲食・物販施設の増	24件	

	休憩エリアの増	19件
	園内移動施設の増	22件
	天候対策	47件
	新しい話題の提供	10件
	料金の値下げ	18件
	ネイチャーエリア・公園開発	4件
	その他	7件
	合計	207件
主な意見・要望・苦情		左記への対応状況
(ハーモニーランドを除く公園部分)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいに整備し、今のままで良いとの意見もある。自然を残したままの維持管理をする。</li> <li>・和便器を洋便器に改修し、洋便器の比率を上げる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効に使えていない。</li> <li>・整備がいまいちである。</li> <li>・トイレを充実して欲しい</li> </ul>		

## 6. 施設利活用に係る状況

### (1) 近隣類似施設の状況

施設名	設置者	所在地	H30(2018)年度利用者数
城島高原パーク	民間	別府市	428,569人

### (2) 他組織との企画・情報発信における連携

他組織	連携	主な連携内容(連携組織名)
県庁内の他組織	×	・ー
市町村	○	・城下かれいまつりへの参加(日出町)
学校	○	・チアリーダーディング(日本文理大学)
民間企業	○	・企業プロモーション(富国生命、ベネッセ、第一生命)
その他団体 (NPO、各種法人等)	○	・ファミリーフェスタ(大分県私立幼稚園連合会) ・福利厚生(九州各県看護協会 外)

### (3) 利活用を進める上での課題

分類	有無		課題の具体的な内容
	県側	指側※1	
人員不足	×	○	・人員の確保

予算不足	×	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用の多様化</li> <li>・経営環境による資金調整</li> <li>・施設老朽化の対応</li> <li>・魅力ある設備やショーの維持・更新</li> <li>・交通機関の利便性の悪さ</li> </ul>
ノウハウ・アイデア不足	×	×	
ノウハウ等を 阻害する要因	×	○	
施設ポテンシャル※2	○	○	
その他	×	×	

※1:指側＝指定管理者側

※2:施設ポテンシャル＝施設の規模・機能、老朽化・陳腐化、立地条件等

(4) SWOT分析 [強み(**S**trength)、弱み(**W**eakness)、機会(**O**pportunity)、脅威(**T**hreat)]

目指す施設像 (イメージ、目標数値等)	立地的には大都市圏ではない為、これまでの主ターゲット(子育て世帯)のみを追いかけるのは、少子化が進む中では厳しいことか予想される。その為、若年層はもとより、3世代交流の目的、テーマを前面にしたシニア層など、各層への提案型集客を目指すことで、マーケット自体の幅を広げていきたい。  ・2019年度 目標値 570,000人
------------------------	--

◆「目指す施設像」を実現するためのSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンリオキャラクターの認知度、訴求力</li> <li>・ライブショーのクオリティ</li> <li>・園内ショップ、飲食店舗の直営、購買力</li> <li>・自社で制作出来るデザインや各種プラン</li> <li>・大分県や各団体とのネットワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化</li> <li>・屋外施設である為、天候的な要因に影響される</li> </ul>
外部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・80km 商圏内にあった競合施設(旧スペースワールド)が閉鎖された</li> <li>・高速道路のICが近い(日出IC)</li> <li>・全国的な観光地である別府、湯布院と近い(宿泊施設が充実している)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化による主ターゲット層の減少</li> <li>・就労面においては、季節的な労働確保が困難、通勤手段の不便性</li> <li>・周辺地域の人口</li> <li>・公共交通の便やアクセス環境(通行止め)が弱い</li> </ul>
	S	W
	O	T

▼

上記SOを生かす取組	
a)	サンリオキャラクターの効果的な露出や新たなショー展開
b)	中・長期的なコンテンツの検討(投資)。短期的には、各シーズンプロモーションの強化展開

▼

上記WTを補う取組	
c)	集客エリアの拡大/北九州地域の商圏を集客エリアと捉え、営業活動及び宣伝を強化。(北九州の増員強化、新規商圏として山口、広島西部からの動員獲得)
d)	ターゲット層の拡大/Web、SNS 施策を強化し、「T層～F1層」の増員を図る。竹林エリアを利用したイベントにより高い年齢層を狙う。
e)	老朽した施設を維持するだけでなく、時代に沿ったものへ改修する。

▼

取組の優先順位 (①～⑥位)	① b	② d	③ e	④ c	⑤ a	
優先①位の取組に必要な準備事項	サンリオピューロランドと連携し、ショーやイベントの展開強化、大型会員企画の施策やインバウンドを中心とした営業施策の共有化					



<b>施設 9</b>	<b>港湾環境整備施設（大分港西大分地区）</b>	<b>直営</b>
-------------	---------------------------	-----------

所管部課室	土木建築部 港湾課、大分土木事務所 大分港振興室
施設所在地	大分市生石5丁目
HPアドレス	[大分土木事務所 大分港振興室] <a href="http://www.pref.oita.jp/soshiki/17004/ooitakousinnkousitu.html">http://www.pref.oita.jp/soshiki/17004/ooitakousinnkousitu.html</a>



1. 施設概要

設置年月	平成 26(2014)年 4月
設置根拠	港湾法第 3 条の 3、大分港港湾計画
設置目的	ほとんどが工業用地や物流施設で占められ、開放された水際線が極めて少ない大分港の状況を踏まえ、港湾ならではの景観、水際線の景観を活かした憩いの空間の提供する
事業内容	なし
施設内容	① 緑地 ② 広場 ③ 公衆便所 ④ 駐車場
閉館日	なし

2. 管理体制（令和元年5月1日現在、単位：人）

正規	嘱託	臨時	その他	計
9	0	0	6	15

※：「その他」は、監視委託先（NPO法人みなとまちづくり）所属の人数

3. 管理に係る収入状況（単位：千円）

	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度
使用料	12,316	12,051	11,930
貸付料	0	0	0
占用料	0	0	10
庁舎等管理費	0	0	0
その他	0	0	0

4. ストックに係る状況

(1) ストック概要（令和元年5月1日現在）

取得年月(※)	当初から「港湾施設用地」として保有
敷地面積	18,832 m <sup>2</sup>
延べ床面積	66 m <sup>2</sup>

※：取得年月は、主たる建物の取得年月を記載、転用の場合は前身施設の取得年月  
 県有財産台帳に同名施設で登録されている全ての土地・建物の面積を記載

(2) 過去3年間の建物修繕等コスト（単位：千円）…※

	合計
H28(2016)年度	0
H29(2017)年度	136
H30(2018)年度	112
3年間平均	83

※：建物や建物設備（電気、排水設備等）に係る修繕・改善コストを記載（清掃・警備・  
 消耗品交換費・植栽管理費等は除く）

(3) 施設長寿命化（保全）コスト（単位：千円）

計画名称	大分県港湾施設長寿命化計画
計画期間	50年〔令和元(2019)年～令和50(2068)年〕
期間中の総保全コスト	(当該施設のみ)の算出はしていない



## 5. 利用状況

### (1) 利用者数の実績・予測

実績	H28(2016)年度	不明（自由使用）
	H29(2017)年度	不明（自由使用）
	H30(2018)年度	不明（自由使用）
	利用者居住地	不明（自由使用）
予測※	R12(2030)年度	不明（自由使用）
	R27(2045)年度	不明（自由使用）

※: 予測利用者数は「平成 30（2018）年度利用者数」×「将来推計人口から算出した人口変化率」で試算。

### (2) 利用目的 [平成 30（2018）年度]

1位	不明	2位	—	3位	—
	—		—		—

### (3) 利用者満足度調査等の実施状況

実施方法	なし
実施結果	なし
主な意見・要望・苦情	左記への対応状況
なし	

## 6. 施設利活用に係る状況

### (1) 近隣類似施設の状況

施設名	設置者	所在地	H30(2018)年度利用者数
海岸環境整備施設 (別府港餅ヶ浜地区)	大分県	別府市	不明（自由使用）
港湾環境整備施設 (津久見港青江地区)	大分県	津久見市	不明（自由使用）

### (2) 他組織との企画・情報発信における連携

他組織	連携	主な連携内容（連携組織名）
県庁内の他組織	○	・ 苦情・意見の情報提供（土木建築部港湾課）
市町村	×	・ —
学校	×	・ —

民間企業	×	・－
その他団体 (NPO、各種法人等)	○	・定期的なイベント開催 (NPO大分ウォーターフロント研究会)

(3) 利活用を進める上での課題

分類	有無	課題の具体的な内容
人員不足	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕費は大分港全体分として配分されており、修繕費の予算は不足している状態である。</li> <li>・その中で、かんたん港園は県民の方の出入りが特に多い施設であるため、優先して修繕を行っている。</li> </ul>
予算不足	○	
ノウハウ・アイデア不足	×	
ノウハウ等を 阻害する要因	×	
施設ポテンシャル※	×	
その他	×	

※:施設ポテンシャル=施設の規模・機能、老朽化・陳腐化、立地条件等

(4) SWOT分析 [強み(Strength)、弱み(Weakness)、機会(Oppportunity)、脅威(Threat)]

目指す施設像 (イメージ、目標数値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい景観があり、波の音が聞こえる静かな憩いの場・和みの場として利用者が満足する緑地</li> <li>・周囲の飲食店等の集客と合いまった、集いの場</li> </ul>
------------------------	---

◆「目指す施設像」を実現するためのSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北側は海に面しているため、開放的な空間がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柵の腐食等徐々に施設の老朽化が始まっている</li> </ul>
外部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣に同様の施設はない</li> <li>・南側は道路との間に建物あるため、騒音がカットされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの吸い殻、弁当ガラ放置、犬のフンの不始末など利用者のマナー</li> </ul>

S	W
O	T

▼

上記SOを生かす取組
なし

▼

上記WTを補う取組
a) 安全確保のため、柵等の補修は優先的に行う
b) 利用者の指摘等を受け止め、啓発看板を設置する

▼

取組の優先順位 (①～⑥位)	①a	②b	
優先①位の取組に必要な準備事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確実なパトロールによる要修理箇所の把握する</li> <li>・実行可能な予算を着実に確保する</li> </ul>		



<b>施設 10</b>	<b>大分県立図書館</b>	<b>直営</b>
--------------	----------------	-----------

所管部課室	教育庁 社会教育課
施設所在地	大分市王子西町 14 番 1 号
HP アドレス	<a href="https://www.oita-library.jp/">https://www.oita-library.jp/</a>



### 1. 施設概要

設置年月	平成 6 (1994) 年 9 月
設置根拠	図書館法第 10 条 大分県立図書館の設置及び管理に関する条例
設置目的	県民の教育と文化の発展に寄与するため
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 図書等必要資料の収集、一般公衆の利用に供すること</li> <li>② 資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること</li> <li>③ 図書館職員が資料の利用のための相談に応ずるようにすること</li> <li>④ 他図書館等との資料の相互貸借を行うこと</li> <li>⑤ 読書会、研究会、資料展示会等を主催及び開催を奨励すること</li> <li>⑥ 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること</li> <li>⑦ 社会教育等の活動の機会の提供、及びその提供を奨励すること</li> </ul>
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 閲覧室（一般、児童、調査相談、郷土情報）</li> <li>② 公開書庫、書庫</li> </ul>

	③ 学習室 ④ 研修室、視聴覚ホール
休館日	毎月第1・3・5月曜日（月曜日が祝日等の場合はその翌日） 第2・4月曜日が祝日等の場合はその翌日 年末年始（12月28日から1月4日まで） 資料整備期間

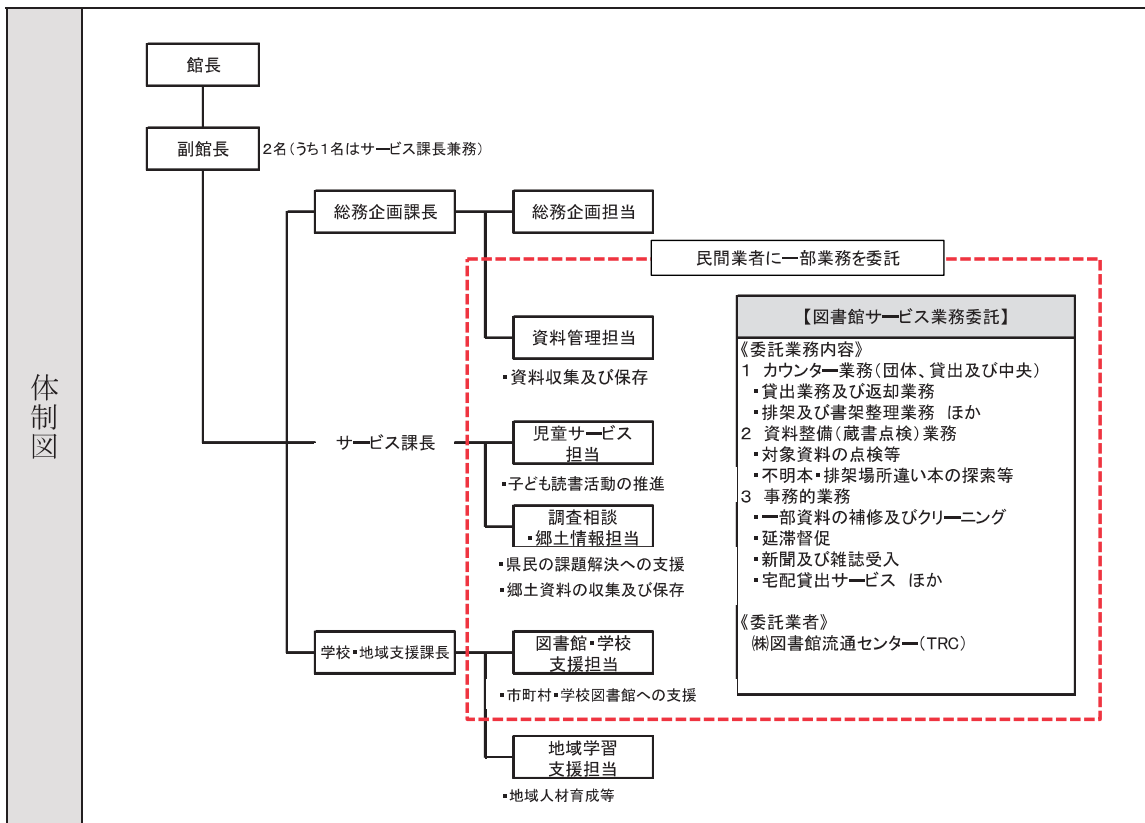
## 2. 管理体制

### (1) 職員体制（令和元年5月1日現在、単位：人）

正規	嘱託	臨時	その他	計
31	3	0	22	56

※：「その他」は、業務委託先（株式会社 図書館流通センター）所属の職員数

### (2) 体制図（令和元年5月1日現在）



## 3. 管理に係る収入状況（単位：千円）

### (1) 主な収入

	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度
使用料	421	421	421

貸付料	0	0	0
占用料	0	0	0
庁舎等管理費	957	933	893
その他	0	0	0

(2) 主な支出

	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度
業務委託料 (株式会社 図書館流通センター)	46,656	46,656	50,987
資料購入費	44,870	44,836	45,158

4. ストックに係る状況

(1) ストック概要 (令和元年5月1日現在)

取得年月(※)	平成6(1994)年9月 [経過年数:24年]
敷地面積	15,266.77 m <sup>2</sup>
延べ床面積	23,002.22 m <sup>2</sup>

※:取得年月は、主たる建物の取得年月を記載、転用の場合は前身施設の取得年月  
県有財産台帳に同名施設で登録されている全ての土地・建物の面積を記載

(2) 過去3年間の建物修繕等コスト (単位:千円)

	合計
H28(2016)年度	186,273
H29(2017)年度	32,301
H30(2018)年度	32,442
3年間平均	83,672

※:建物や建物設備(電気、排水設備等)に係る修繕・改善コストを記載(清掃・警備・  
消耗品交換費・植栽管理費等は除く)

(3) 施設長寿命化(保全)コスト (単位:千円)

計画名称	大分県大規模施設中長期保全計画
計画期間	20年 [平成27年度~令和17年度]
期間中の総保全コスト	3,523,474 (年平均:176,174)

(4-1) 蔵書状況

H28(2016)年度	1,166,610 冊	[前年度比:+ 0.9%]
H29(2017)年度	1,179,958 冊	[前年度比:+ 1.1%]
H30(2018)年度	1,191,767 冊	[前年度比:+ 1.0%]

(4-2) 平成30年度図書の受入状況 (単位:冊)

区分	一般	子ども室	調査相談	郷土資料	団体	計
購入	10,498	2,965	534	517	1,731	16,245
寄贈	711	24	189	2,132	69	3,125
その他	26	14	3	143	44	230
計	11,235	3,003	726	2,792	1,844	19,600

(4-3) 平成30年度図書の除籍状況 (単位:冊)

区分	一般	子ども室	調査相談	郷土資料	団体	計
除籍	1,014	924	0	19	6,221	8,178

5. 利用状況

(1-1) 入館者数の実績・予測

実績	H28(2016)年度	506,061 人	[前年度比:+5.0%]
	H29(2017)年度	483,572 人	[前年度比:-4.4%]
	H30(2018)年度	496,416 人	[前年度比:+2.7%]
	利用者居住地	①大分市 [81.7%]、②別府市 [8.2%]、③由布市 [1.3%]	
予測 ※	R12(2030)年度	482,487 人	[H30(2018)年度比:-2.8%]
	R27(2045)年度	441,053 人	[H30(2018)年度比:-11.2%]

※:予測利用者数は「平成30(2018)年度利用者数」×「将来推計人口から算出した人口変化率」で試算。

(1-2) 年度末登録者数の実績

H28(2016)年度	228,859 人	[前年度比:+ 1.6%]
H29(2017)年度	232,008 人	[前年度比:+ 1.4%]
H30(2018)年度	235,397 人	[前年度比:+ 1.5%]



(1-3) 貸出状況

個人	H28(2016)年度	638,961 冊	[前年度比:-12.0%]
	H29(2017)年度	600,790 冊	[前年度比:-6.0%]
	H30(2018)年度	586,601 冊	[前年度比:-2.4%]
団体※	H28(2016)年度	74,797 冊	[前年度比:-5.7%]
	H29(2017)年度	64,620 冊	[前年度比:-13.6%]
	H30(2018)年度	57,263 冊	[前年度比:-11.4%]
協力※	H28(2016)年度	22,668 冊	[前年度比:+5.9%]
	H29(2017)年度	23,947 冊	[前年度比:+5.6%]
	H30(2018)年度	25,524 冊	[前年度比:+6.6%]
合計	H28(2016)年度	736,426 冊	[前年度比:-10.9%]
	H29(2017)年度	689,357 冊	[前年度比:-6.4%]
	H30(2018)年度	669,388 冊	[前年度比:-2.9%]

※:団体貸出・・・県内機関及び読書団体等への貸出

※:協力貸出・・・県内市町村立図書館及び県内各学校等への貸出

(2) 利用目的 [平成 30 (2018) 年度]

1位	図書館の貸出・返却	2位	個人的な調査研究	3位	生活上の情報収集
	59.1%		18.0%		13.3%

(3) 利用者満足度調査等の実施状況

実施方法	平成 30 年 2 月、大分県立図書館 2 階閲覧室入口前にて、調査員が来館者に手渡しでアンケート帳票を配布、回収箱で回収。7 日間で実施。	
実施結果	実配布数 : 801 部 回収数 : 793 部 (回収率 99.0%)	
	主な意見・要望・苦情	左記への対応状況
	・一般図書及び専門書等の充実	・利用状況を反映させた選書 ・県内市町村立図書館又は県外の公立図書館等からの相互貸借の制度の周知

## 6. 施設利活用に係る状況

### (1) 近隣類似施設の状況

施設名	設置者	所在地	H30(2018)年度利用者数
大分市民図書館	大分市	大分市	549,632人
大分大学学術情報拠点 (図書館/医学図書館)	国立大学法人 大分大学	大分市 由布市	313,696人

### (2) 他組織との企画・情報発信における連携

他組織	連携	主な連携内容(連携組織名)
県庁内の他組織	○	・コーナー展示ほか(県産業科学技術センター) ・大分県子育て講演会(県障害福祉課)
市町村	○	・協力貸出(全市町村公立図書館等) ・連絡会議、研修会、司書派遣、巡回相談( )
学校	○	・協力貸出(学校図書館) ・職場体験、見学、スクールサービスデイ(県内学校等)
民間企業	×	・-
その他団体 (NPO、各種法人等)	○	・おはなし会(ボランティア団体) ・一日まちの保健室(大分県看護協会ほか)

### (3) 利活用を進める上での課題

分類	有無	課題の具体的な内容
人員不足	○	
予算不足	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス人員(カウンター、資料管理)の不足</li> <li>・老朽化(雨漏り及び機械設備更新ほか)</li> <li>・施設の各種設備(照明、空調及び視聴覚設備)等の陳腐化</li> <li>・立地条件(中心部になく、公共交通機関も不便)</li> </ul>
ノウハウ・アイデア不足	×	
ノウハウ等を 阻害する要因	×	
施設ポテンシャル※	○	
その他	×	

※:施設ポテンシャル=施設の規模・機能、老朽化・陳腐化、立地条件等

(4) SWOT分析 [強み(**S**trength)、弱み(**W**eakness)、機会(**O**pportunity)、脅威(**T**hreat)]

目指す施設像 (イメージ、目標数値等)	「専門性及び広域性の向上」を目標として、専門知識の蓄積を活用した支援及び資料収集・保存の充実等を行うとともに、県民誰でもどこでも同じサービスを受けられるよう、全県サービスの展開を図る
------------------------	---

◆「目指す施設像」を実現するためのSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多岐にわたる資料を収集し保存</li> <li>・調査研究関連資料・児童図書が豊富</li> <li>・多くの種類の新聞及び雑誌を所蔵</li> <li>・社会教育主事が在席し、生涯学習相談に対応可能</li> <li>・障がい者宅配サービスが無料</li> <li>・各種講座や相談会が参加無料</li> <li>・駐車場が無料</li> <li>・一部スペースでWi-Fiの利用が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設が老朽化</li> <li>・公共交通機関の便が良くない</li> <li>・部屋の区切がなく、空調の効きが悪い</li> </ul>
外部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣に学校施設が多い</li> <li>・近隣書店が減少傾向</li> <li>・県内の市町村立図書館との連携が充実している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分市立図書館が新設された</li> <li>・大分県や大分市の人口が減少している</li> <li>・大分市の市街地から離れている</li> <li>・中高生の読書ばなれ</li> </ul>

▼

上記SOを生かす取組	
a)	県立図書館の役割を意識した資料収集、郷土資料の充実及び司書の資質向上
b)	他の部局・団体との連携事業で、各種講座等(子育て講演会・放送大学講座・JAXA科学教育講座等)を開催し、生涯学習の推進を図る
c)	近隣学校からの職業体験学習やインターンシップ受入れにより、当館サービスの広報・普及を図るとともに学校教育支援を図る

▼

上記WTを補う取組	
d)	施設の大規模改修
e)	学校図書館との連携による読書推進の取組強化
f)	広報活動の充実

▼

取組の優先順位 (①～⑥位)	① a	② e	③ b	④ d	⑤ c	⑥ f
優先①位の取組に 必要な準備事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バランスの取れた蔵書構成に考慮した資料の収集</li> <li>・ 郷土資料等の電子化</li> <li>・ 市町村立図書館との役割分担</li> </ul>					

取組の優先順位 (①～⑥位)	① a	② e	③ b	④ d	⑤ c	⑥ f
優先①位の取組に 必要な準備事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスの取れた蔵書構成に考慮した資料の収集</li> <li>・郷土資料等の電子化</li> <li>・市町村立図書館との役割分担</li> </ul>					

<b>施設 11</b>	<b>大分県立香々地青少年の家</b>	<b>直営</b>
--------------	---------------------	-----------

所管部課室	教育庁 社会教育課
施設所在地	豊後高田市香々地 5151 番地
HPアドレス	<a href="https://www.pref.oita.jp/site/kakaji/">https://www.pref.oita.jp/site/kakaji/</a>



### 1. 施設概要

設置年月	昭和 48(1973)年 3 月
設置根拠	大分県立青少年の家の設置及び管理に関する条例
設置目的	青少年の心身の健全な育成を図り、社会教育の振興に資するため
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 青少年の集団宿泊研修機会の提供</li> <li>② 自然体験活動、スポーツ、レクリエーション等の機会の提供</li> <li>③ 青少年の家の目的を達成するために必要な事業</li> </ul>
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 屋内施設（宿泊室、食堂、研修室、視聴覚室、談話室、会議室、プレイホール、プラネタリウム館、創作室、レクリエーション室、浴室）</li> <li>② 屋外施設（アスレチック場、バンガロー、野外炊事場、グラウンド、マリンコミュニティーセンター）</li> <li>③ その他（オリエンテーリング、バードウォッチング、海水浴・磯遊び、いかだ活動）</li> </ul>
閉館日	年末年始（12月29日から1月3日まで）

2. 管理体制（令和元年5月1日現在、単位：人）

正規	嘱託	臨時	他	計
7	2	0	0	9

3. 管理に係る収入状況（単位：千円）

	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度
使用料	2,075	3,165	2,578
貸付料	243	243	374
占用料	0	0	0
庁舎等管理費	321	373	327
その他	2,337	2,742	2,762

4. ストックに係る状況

(1) ストック概要（令和元年5月1日現在）

取得年月(※)	昭和48(1973)年3月 [経過年数:46年]
敷地面積	123,972.69 m <sup>2</sup>
延べ床面積	8,505.97 m <sup>2</sup>

※:取得年月は、主たる建物の取得年月を記載、転用の場合は前身施設の取得年月  
 県有財産台帳に同名施設で登録されている全ての土地・建物の面積を記載

(2) 過去3年間の建物修繕等コスト（単位：千円）…※

	合計
H28(2016)年度	4,302
H29(2017)年度	131,371
H30(2018)年度	151,057
3年間平均	95,577

※:建物や建物設備（電気、排水設備等）に係る修繕・改善コストを記載（清掃・警備・  
 消耗品交換費・植栽管理費等は除く）

(3) 施設長寿命化（保全）コスト（単位：千円）

計画名称	教育庁所管県有建築物保全計画
計画期間	10年 [平成27年度～令和6年度]
期間中の総保全コスト	210,175 (年平均:21,018)

	<b>【過去3年の大規模改修工事】</b> H28：なし H29：本館宿泊棟 130,078 H30：管理棟 151,057
--	---

## 5. 利用状況

### (1) 利用者数の実績

実績	H28(2016)年度	31,681人 [前年度比:+3.3%]
	H29(2017)年度	38,898人 [前年度比:+22.8%]
	H30(2018)年度	39,778人 [前年度比:+2.3%]
	利用者居住地	①大分市 [39.0%]、②中津市 [34.0%]、③別府市 [15.3%] (※利用者居住地は、教育事務所単位で記載)

### (2) 利用者数の予測

#### ① 「全年齢層の人口変化率」を用いた試算（他施設と同様な試算方法）

予測※	R12(2030)年度	38,035人 [H30(2018)年度比:-4.4%]
	R27(2045)年度	34,403人 [H30(2018)年度比:-13.5%]

※:①の予測利用者数は「平成30(2018)年度利用者数」×「将来推計人口から算出した人口変化率」で試算。

#### ② 「主な利用者層（5～19歳）の人口変化率」を用いた試算

予測※	R12(2030)年度	33,851人 [H30(2018)年度比:-14.9%]
	R27(2045)年度	27,725人 [H30(2018)年度比:-30.3%]

※:②の予測利用者数は「平成30(2018)年度利用者数」×「将来推計人口のうち、青少年の家利用者の主な利用者層である『5～19歳の推計人口』から算出した人口変化率」で試算。

### (3) 利用者満足度調査等の実施状況

実施方法	利用団体毎にアンケート調査を実施	
実施結果	【平成30年度平均点】	
	職員対応満足度 3.9点 全体的な満足度 3.8点	今後の利用希望度 3.9点 (※すべて4点満点)
主な意見・要望・苦情		左記への対応状況
・プラネタリウムと宿泊施設にエアコンがない		・令和元年度中にエアコン整備予定



<ul style="list-style-type: none"> <li>・スズメバチ、ムカデが出る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スズメバチについてはトラップ設置</li> <li>・ムカデについては防除剤散布</li> </ul> <p style="text-align: center;">〔 どちらも報告の都度、迅速に駆除対応を実施 また、入所オリエンテーションで注意喚起徹底 〕</p>
---	---

## 6. 施設利活用に係る状況

### (1) 近隣類似施設の状況

施設名	設置者	所在地	H30(2018)年度利用者数
のつはる少年自然の家	大分市	大分市	21,567人
少年自然の家「おじか」	別府市	別府市	16,725人
ゆふの丘プラザ	由布市	由布市	10,355人
九重青少年の家	大分県	九重町	57,292人
ふれあいの家京築	福岡県	築上郡上毛町	(H30.11.1廃止) 2,200人
英彦山青年の家	福岡県	田川郡添田町	52,203人
菊池少年自然の家	熊本県	菊池市	27,110人
阿蘇青少年交流の家	国	阿蘇市	108,839人
むかばき青少年自然の家	宮崎県	延岡市	36,690人

### (2) 他組織との企画・情報発信における連携

他組織	連携	主な連携内容(連携組織名)
県庁内の他組織	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0-Laboとの連携他(社会教育課)</li> <li>・歩得アプリによる広報(健康づくり支援課)</li> </ul>
市町村	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノルディックウォークの健康サポート(別府市)</li> <li>・CATV・市報での広報(豊後高田市)</li> </ul>
学校	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団宿泊体験活動(小中高校)</li> <li>・豊かな体験活動推進事業(県内小学校)</li> </ul>
民間企業	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートキャンプ・ふれあいキャンプ(フリースクール)</li> </ul>
その他団体 (NPO、各種法人等)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設運営協議会での指導助言(地元商工団体)</li> <li>・健康サポートでの連携(ノルディックウォーク連盟)</li> </ul>

(3) 利活用を進める上での課題

分類	有無	課題の具体的な内容
人員不足	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別館の老朽化やエアコンの未整備 (施設の老朽化については別館対策検討中)</li> <li>・キャンプ場の法面に亀裂があり、一部のバンガローが使用できない状態</li> <li>・アスレチック等の野外施設が一部使用不可</li> </ul>
予算不足	×	
ノウハウ・アイデア不足	×	
ノウハウ等を 阻害する要因	×	
施設ポテンシャル※	○	
その他	×	

※:施設ポテンシャル＝施設の規模・機能、老朽化・陳腐化、立地条件等

(4) SWOT分析 [強み(**S**trength)、弱み(**W**eakness)、機会(**O**pportunity)、脅威(**T**hreat)]

目指す施設像 (イメージ、目標数値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用者数目標 40,000人以上</li> <li>・学校教育への支援を強化する</li> <li>・自然環境を活かした魅力ある体験活動を実施する</li> <li>・稼働率や利用者数増のために冬季対策事業の充実を図る</li> </ul>
------------------------	--

◆「目指す施設像」を実現するためのSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を支える職員のノウハウ</li> <li>・教育現場の経験豊かな職員の配置</li> <li>・海の体験プログラム</li> <li>・県内唯一のデジタルプラネタリウム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化</li> <li>・エアコンの故障、未整備</li> <li>・雨天時の活動内容が少ない</li> </ul>
	S	W
外部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国東半島の豊かな自然、歴史資源</li> <li>・アサギマダラの飛来</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化（小中学生児童の減少）</li> <li>・夏場の平均気温上昇</li> <li>・害虫等の発生（ムカデ、スズメバチ）</li> </ul>
	O	T

上記SOを生かす取組	上記WTを補う取組
a) 積極的な広報戦略 ① Web 広報の充実 ② 広報番組等メディアの活用	d) 施設の計画的改修やエアコンの整備
b) 学校の集団宿泊活動の充実	e) 雨天時独自プログラムの開発
c) 魅力的な主催事業の実施 ① 不登校対策等、社会課題を解消する先進事業の実施・検証 ② 星空鑑賞会や自然環境を活かした事業の実施等	f) 害虫対策の実施 ① 害虫トラップの設置 ② 害虫駆除剤の散布 ③ バンガロー近辺の間伐 ④ 注意喚起の徹底

取組の優先順位 (①～⑥位)	① c	② a	③ b	④ d	⑤ e	⑥ f
優先①位の取組に必要な準備事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校をはじめとする関係機関との連携</li> <li>・先進的取組の情報収集</li> </ul>					

<b>施設 12</b>	<b>九重青少年の家</b>	<b>直営</b>
--------------	----------------	-----------

所管部課室	教育庁 社会教育課
施設所在地	玖珠郡九重町大字田野 204-47
HPアドレス	<a href="https://www.pref.oita.jp/site/kokonoe/">https://www.pref.oita.jp/site/kokonoe/</a>



### 1. 施設概要

設置年月	昭和 58(1973)年 4 月
設置根拠	大分県立青少年の家の設置及び管理に関する条例
設置目的	青少年の心身の健全な育成を図り、社会教育の振興に資するため
事業内容	① 青少年の集団宿泊研修機会の提供 ② 自然体験活動、スポーツ、レクリエーション等の機会の提供 ③ 青少年の家の目的を達成するために必要な事業
施設内容	① 屋内施設（宿泊室、食堂、研修室、視聴覚室、談話室、会議室、プレイホール、プラネタリウム室、工作室、ふれあい広場、スタードーム、浴室）

	② 屋外施設（アスレチック場、キャンプ場、野外炊事場、多目的広場、活動センター） ③ その他（オリエンテーリング、トレッキング、観察の森、自然観察遊歩道）
閉館日	年末年始（12月29日から1月3日まで）

## 2. 管理体制（令和元年5月1日現在、単位：人）

正規	嘱託	臨時	他	計
7	2	0	0	9

## 3. 管理に係る収入状況（単位：千円）

	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度
使用料	6,031	8,142	6,742
貸付料	495	518	519
占用料	0	0	0
庁舎等管理費	280	444	449
その他	2,513	3,472	3,588

## 4. スtockに係る状況

### (1) スtock概要（令和元年5月1日現在）

取得年月(※)	昭和58(1983)年7月 [経過年数:35年]
敷地面積	136,960.21 m <sup>2</sup>
延べ床面積	7,111.43 m <sup>2</sup>

※:取得年月は、主たる建物の取得年月を記載、転用の場合は前身施設の取得年月  
県有財産台帳に同名施設で登録されている全ての土地・建物の面積を記載

### (2) 過去3年間の建物修繕等コスト（単位：千円）…※

	合計
H28(2016)年度	2,200
H29(2017)年度	2,545
H30(2018)年度	1,387
3年間平均	2,044

※:建物や建物設備（電気、排水設備等）に係る修繕・改善コストを記載（清掃・警備・  
消耗品交換費・植栽管理費等は除く）

(3) 施設長寿命化（保全）コスト（単位：千円）

計画名称	教育庁所管県有建築物保全計画
計画期間	10年 [平成27年度～令和6年度]
期間中の総保全コスト	735,609（年平均73,561） （令和5年、6年に実施の計画）
	【過去3年の大規模改修工事】 H28：なし H29：なし H30：なし

5. 利用状況

(1) 利用者数の実績

実績	H28(2016)年度	37,946人 [前年度比:-18.5%]
	H29(2017)年度	53,541人 [前年度比:+41.0%]
	H30(2018)年度	57,292人 [前年度比:+7.0%]
	利用者居住地	①大分市 [43.5%]、②福岡県 [12.6%]、③日田市 [12.5%] (※利用者居住地は、教育事務所単位で記載)

(2) 利用者数の予測

① 「全年齢層の人口変化率」を用いた算出（他施設と同様な試算方法）

予測※	R12(2030)年度	53,999人 [H30(2018)年度比:-5.7%]
	R27(2045)年度	47,732人 [H30(2018)年度比:-16.7%]

※:①の予測利用者数は「平成30(2018)年度利用者数」×「将来推計人口から算出した人口変化率」で試算。

② 「主な利用者層（5～19歳）の人口変化率」を用いた算出

予測※	R12(2030)年度	48,755人 [H30(2018)年度比:-14.9%]
	R27(2045)年度	39,932人 [H30(2018)年度比:-30.3%]

※:②の予測利用者数は「平成30(2018)年度利用者数」×「将来推計人口のうち、青少年の家利用者の主な利用者層である『5～19歳の推計人口』から算出した人口変化率」で試算。

(3) 利用者満足度調査等の実施状況

実施方法	利用者アンケート		
実施結果	<b>【平成 30 年度平均点】</b> 職員対応満足度 3.9点      今後の利用希望度 3.9点 全体的な満足度 3.8点      (※すべて4点満点)		
主な意見・要望・苦情		左記への対応状況	
・食事の量（品数等）の増量について （スポーツ関係団体利用時）		・食堂委託業者との定期的な会議の中で 要望し、可能な範囲で改善を図っている	
・施設の老朽化について		・運営に支障があるものには即座に対応。 予算がかかるもの等は本課と相談しながらの対応している	

6. 施設利活用に係る状況

(1) 近隣類似施設の状況

施設名	設置者	所在地	H30(2018)年度利用者数
のつはる少年自然の家	大分市	大分市	21,567人
少年自然の家「おじか」	別府市	別府市	16,725人
ゆふの丘プラザ	由布市	由布市	10,355人
香々地青少年の家	大分県	豊後高田市	39,778人
ふれあいの家京築	福岡県	築上郡上毛町	(H30.11.1廃止) 2,200人
英彦山青年の家	福岡県	田川郡添田町	52,203人
菊池少年自然の家	熊本県	菊池市	27,110人
阿蘇青少年交流の家	国	阿蘇市	108,839人
むかばき青少年自然の家	宮崎県	延岡市	36,690人

(2) 他組織との企画・情報発信における連携

他組織	連携	主な連携内容（連携組織名）
県庁内の他組織	○	・森林環境学習促進事業（うつくし作戦推進課） ・青少年ふれあい交流体験推進事業（産業科学技術センター）
市町村	○	・CATVを使った広報（九重町） ・くじゅうフェス（九重町）
学校	○	・集団宿泊体験活動（小中高校） ・豊かな体験活動推進事業（県内小学校）



民間企業等	○	・青少年ふれあい交流体験推進事業（九重ふるさと自然学校）
その他団体 （NPO、各種法人等）	○	・青少年ふれあい交流体験推進事業（くじゅうネイチャーガイドクラブ） ・マインドクエストキャンプ（社会福祉法人 Beeすけっと）

（3）利活用を進める上での課題

分類	有無	課題の具体的な内容
人員不足	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化</li> <li>・計画的に保全すべき施設の改修が進まないこと</li> </ul>
予算不足	×	
ノウハウ・アイデア不足	×	
ノウハウ等を 阻害する要因	×	
施設ポテンシャル※	○	
その他	×	



(4) SWOT分析 [強み(**S**trength)、弱み(**W**eakness)、機会(**O**ppportunity)、脅威(**T**hreat)]

目指す施設像 (イメージ、目標数値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用者数目標 58,000人以上</li> <li>・学校教育への支援を強化する</li> <li>・自然環境を活かした魅力ある体験活動を実施する</li> <li>・稼働率や利用者数増のために冬季対策事業の充実を図る</li> </ul>
------------------------	--

◆「目指す施設像」を実現するためのSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を支える職員のノウハウ</li> <li>・教育現場の経験豊かな職員の配置</li> <li>・プラネタリウム、大型天体望遠鏡</li> <li>・県内最大級アスレチック施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化</li> <li>・エアコンの未整備</li> <li>・雨天時の活動内容が少ない</li> </ul>
外部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久住連山があり、登山の活動が可能</li> <li>・近くの九重スキー場での活動が可能</li> <li>・地熱を利用した館内暖房及び温泉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化（小中学生児童の減少）</li> <li>・夏場の平均気温上昇</li> <li>・害虫等の発生（蚊、スズメバチ）</li> </ul>

▼

上記SOを生かす取組	
a)	積極的な広報戦略 ① Web 広報の充実 ② 広報番組等メディアの活用
b)	学校の集団宿泊活動の充実
c)	魅力的な自主事業の実施 ① 不登校対策等、社会課題を解消する先進事業の実施・検証 ② 九重の自然を生かした、自然環境学習

▼

上記WTを補う取組	
d)	施設の計画的改修やエアコンの整備
e)	雨天時独自プログラムの開発
f)	害虫対策の実施 ① 野焼きの実施（3～4月） ② 除草及び防虫剤散布

▼

取組の優先順位 (①～⑥位)	① c	② a	③ b	④ d	⑤ e	⑥ f
優先①位の取組に必要な準備事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校をはじめとする関係機関との連携</li> <li>・先進的取組の情報収集</li> </ul>					

<b>施設 13</b>	<b>大分県立埋蔵文化財センター</b>	<b>直営</b>
--------------	----------------------	-----------

所管部課室	教育庁 文化課
施設所在地	大分市牧緑町1-61
HPアドレス	<a href="https://www.pref.oita.jp/site/maizobunka/">https://www.pref.oita.jp/site/maizobunka/</a>



### 1. 施設概要

設置年月	平成 29(2017)年 4 月
設置根拠	大分県立埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例
設置目的	埋蔵文化財（出土品を含む。）の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与するため。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 埋蔵文化財に関する専門的な調査研究を行うこと。</li> <li>② 埋蔵文化財の保存及び活用に関すること。</li> <li>③ 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修に関すること。</li> <li>④ 埋蔵文化財に関する知識を普及し、及び啓発すること。</li> <li>⑤ その他、センターの目的を達成するために必要な事業。</li> </ul>
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 豊の国考古館</li> <li>② BVNGO 大友資料館（内部に企画展示室）</li> </ul>

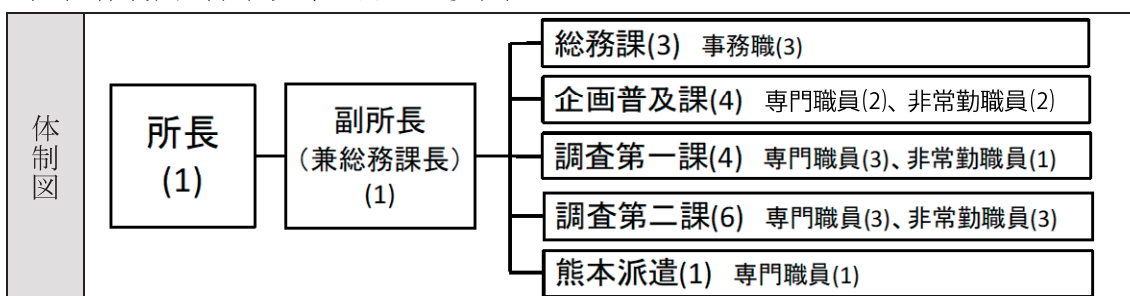
	③ 考古情報室 ④ 第一講座室 ⑤ 第二講座室 ⑥ 歴史体験学習館 ⑦ 駐車場（身体障がい者用駐車場あり）
閉館日	年末年始（12月28日～1月4日）、 月曜日（月曜日が休日に当たる場合は、翌平日）

## 2. 管理体制

(1) 職員体制（令和元年5月1日現在、単位：人）

正規	嘱託	臨時	他	計
13	6	0	0	19

(2) 体制図（令和元年5月1日現在）



3. 管理に係る収入状況（単位：千円）

	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度
使用料	3	0	0
貸付料	25	120	120
占用料	0	0	0
庁舎等管理費	16	25	23
その他	57	499	329

4. ストックに係る状況

(1) ストック概要（令和元年5月1日現在）

取得年月(※)	昭和52(1977)年7月 [経過年数:41年]
敷地面積	18,924.64 m <sup>2</sup>
延べ床面積	7,301.98 m <sup>2</sup>

※:取得年月は、主たる建物の取得年月を記載、転用の場合は前身施設の取得年月  
県有財産台帳に同名施設で登録されている全ての土地・建物の面積を記載

(2) 過去3年間の建物修繕等コスト（単位：千円）…※

	合計
H28(2016)年度	707,981
H29(2017)年度	1,476
H30(2018)年度	2,411
3年間平均	237,289

※:建物や建物設備（電気、排水設備等）に係る修繕・改善コストを記載（清掃・警備・消耗品交換費・植栽管理費等は除く）

(3) 施設長寿命化（保全）コスト（単位：千円）

計画名称	教育庁所管県有建築物保全計画
計画期間	10年 [平成27(2015)年～令和6(2024)年]
期間中の総保全コスト	大規模改造工事 [平成28(2016)年:※] 707,981 その他の保全コスト [平成29(2017)～令和6(2024)年] 0 (年平均:0)

※:平成28(2016)年に埋蔵文化財センター移設整備として内外部大規模改造工事を実施

5. 利用状況

(1) 利用者数の実績・予測

実績	H28(2016)年度	1,854人 [前年度比:+48.7%]
	H29(2017)年度	<移転> 20,121人 [前年度比:+985.3%]
	H30(2018)年度	17,377人 [前年度比:-13.7%]
	利用者居住地	①大分市 [78%]、②別府市 [5%]、③日出町 [4%]
予測 ※	R12(2030)年度	16,852人 [H30(2018)年度比:-3.1%]
	R27(2045)年度	15,371人 [H30(2018)年度比:-11.6%]

※:予測利用者数は「平成30(2018)年度利用者数」×「将来推計人口から算出した人口変化率」で試算。

(2) 利用目的 [平成30(2018)年度]

1位	展示見学	2位	歴史体験	3位	—
	86.9%		13.1%		—

(3) 利用者満足度調査等の実施状況

実施方法	来館者に「性別」「年齢」「住まい」「利用のきっかけ」「満足度」「意見」等のアンケートを実施	
実施結果	満足度は80%が「とてもよかった」、「よかった」が14%、「ふつう」が「6%」	
	主な意見・要望・苦情	左記への対応状況
	・入館無料のうえ、職員の丁寧な解説があり、ありがたい。	・今後も丁寧な対応を心掛ける。
	・現在の展示内容や今後の展示についての意見、要望。	・今後の展示計画の参考にしている。

6. 施設利活用に係る状況

(1) 近隣類似施設の状況

施設名	設置者	所在地	H30(2018)年度利用者数
大分県立歴史博物館	大分県	宇佐市	72,338人
大分県立先哲史料館	大分県	大分市	36,272人
大分市歴史資料館	大分市	大分市	43,346人
南蛮 BVNGO 交流館 [平成30(2018)年9月開館]	大分市	大分市	8,690人
大分市埋蔵文化財保存活用センター	大分市	大分市	546人
福岡市埋蔵文化財センター	福岡市	福岡市	5,325人
宮崎県埋蔵文化財センター(分館)	宮崎県	宮崎市	6,801人

(2) 他組織との企画・情報発信における連携

他組織	連携	主な連携内容(連携組織名)
県庁内の他組織	○	・合同パンフレット (歴史博物館、先哲史料館) ・県庁別館1Fでのミニ展示
市町村	○	・展示資料の貸し借り ・市町村主催事業への出店 (中津職人フェスタ、宗麟公祭り)
学校	○	・講演会での演奏会 (上野丘高校、芸術緑丘高校) ・高文連絵画コンクール
民間企業	×	・-

その他団体 (NPO、各種法人等)	×	・－
----------------------	---	----

(3) 利活用を進める上での課題

分類	有無	課題の具体的な内容
人員不足	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画・普及事業に専従できる職員の確保</li> <li>・ 博物館での資料の取り扱い方法や、展示のノウハウの習得</li> </ul>
予算不足	×	
ノウハウ・アイデア不足	○	
ノウハウ等を 阻害する要因	×	
施設ポテンシャル※	×	
その他	×	

※:施設ポテンシャル＝施設の規模・機能、老朽化・陳腐化、立地条件等

(4) SWOT分析 [強み(**S**trength)、弱み(**W**eakness)、機会(**O**pportunity)、脅威(**T**hreat)]

目指す施設像 (イメージ、目標数値等)	・年間入館者目標値	平成 29 年度	15,000 人
		平成 30 年度	16,000 人
		令和元年度	16,100 人

◆「目指す施設像」を実現するためのSWOT分析

	プラス要因			マイナス要因
内部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職員による質の高い展示・解説及び歴史体験指導</li> <li>・発掘調査の成果を生かした展示</li> <li>・県内各地の資料を所有しており、幅広い展示が可能</li> <li>・県内各市町村との連携で資料の貸し借りが容易</li> </ul>	S	W	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発掘事業減少により、職員総数が減り、受付業務・休日勤務等の負担増加</li> <li>・建物の老朽化による修繕費の増加</li> </ul>
		O	T	
外部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大友氏遺跡の遺物が重要文化財に指定された</li> <li>・小中高校が多い文教地区に立地する</li> <li>・市街地にあり、交通の便がよい</li> <li>・無料で広い駐車場がある</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・大友氏館跡に大分市がガイダンス施設を造る計画の存在</li> <li>・県民への周知不足</li> </ul>

▼

上記SOを生かす取組	
a)	重要文化財を生かした企画展の実施
b)	専門職員による展示ガイダンス
c)	幅広い世代に歴史や文化に興味を持たせる展示・体験学習

▼

上記WTを補う取組	
d)	大分市との連携強化・相互利用の促進
e)	事務分掌の見直し、効率的な勤務割り当てによる休日出勤等の負担軽減
f)	幅広く効果的な広報活動

▼

取組の優先順位 (①～⑥位)	① f	② a	③ c	④ d	⑤ e	⑥ b
優先①位の取組に必要な準備事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣にある学校への利用を働きかけ</li> <li>・マスメディアへの露出</li> </ul>					

